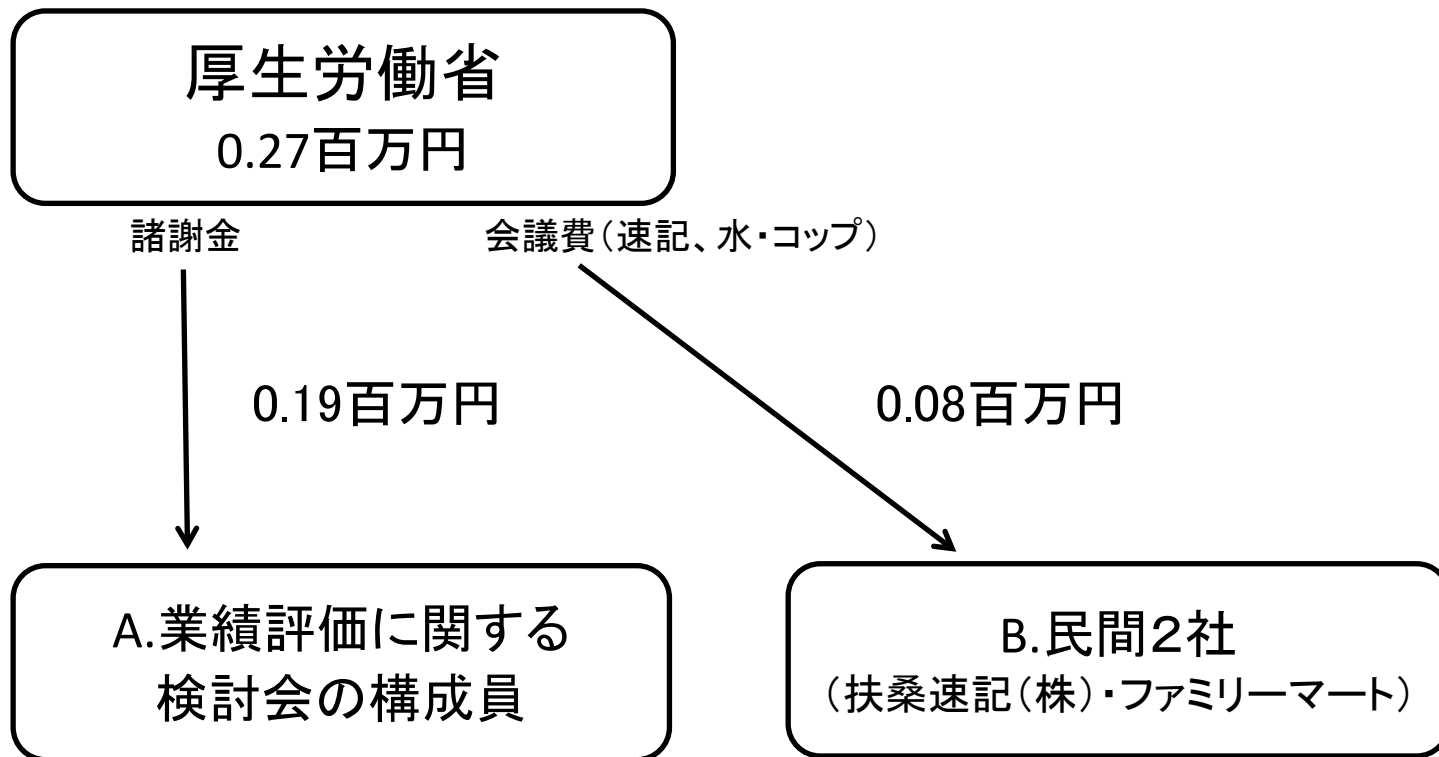


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	全国健康保険協会業績評価関係経費		担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	保険課全国健康保険協会管理室		藤田 学		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ、安定的・効率的な医療保険制度を構築すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法第7条の30		関係する計画、通知等	「第4回全国健康保険協会業績評価に関する検討会開催のご案内」について(平成24年8月14日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	健康保険法第7条の30の規定に基づき、全国健康保険協会の行う健康保険事業等の事業年度ごとの業績についての評価を行うもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	健康保険法第7条の30の規定に基づき、全国健康保険協会の行う健康保険事業等の事業年度ごとの業績についての評価を行うもの。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	0.30	0.30	0.41	0.39	0.61	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	0.30	0.30	0.41	0.39	0.61		
	執行額	0.10	0.23	0.27				
執行率(%)	33.3%	76.7%	65.9%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	全国健康保険協会の業績を評価し、今後の健康保険事業等のさらなる発展を目指すことが本事業の目的であり、近年は特に保健事業のさらなる推進が大きな議題となっている。(被保険者の生活習慣病予防健診の実施率)			成果実績	%	40.9	42.7	44.3
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	検討会開催回数 25年度より評価にあたって今年度の評価の基準を議論するための会議を春に1回、実績に基づく評価の議論を秋に2回行うこととしている。25年度は2開催分の予算しか計上していないが、旅費の執行が不用となったため、3回の開催が可能となっている。			活動実績(当初見込み)	-	1	2	2
					( 2 )	( 2 )	( 3 )	
単位当たりコスト	200,340円/開催		算出根拠	1開催あたりの謝金、旅費、速記代等(26年度要求)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	業績評価関係経費	0.39	0.61	適切な業績評価を図るため、会議開催回数を2回から3回に変更したことによる増。				
	計	0.39	0.61					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	全国健康保険協会の行う事業の事業年度ごとの業績評価を行うものであり、健康保険法の規定に基づく優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	全国健康保険協会の行う事業の事業年度ごとの業績評価を行うものであり、国で実施する必要がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-	-		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	諸謝金は適切に支出しているが、会議費は会計法の規定による随意契約を行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	都区内に勤務地を有する者を検討会の委員としたため、委員に関する旅費が不用となったことによる。		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	平成24年度においては、平成23年度の業績評価を行った。 業績評価に関する検討会の構成員に対する諸謝金、会議費ともに適切に支出している。 今後も引き続き適切に事業を実施する。(平成25年度においては、平成24年度の業績評価を行う予定)					
外部有識者の所見						
執行率を勘案し予算額への反映が必要。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事 業 内 容 の 改 善	外部有識者の意見を踏まえ、執行率を反映した予算額となるよう見直しが必要。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執 行 等 改 善	予算積算のうえでは委員への諸謝金、旅費、速記代、会議雑費を計上しているが、結果として、毎年、東京都区内に勤務地のある者を委員とすることができたことから、旅費の支払いが不用となったものである。26年度において要求額が増額となっているのは、会議の回数を2回→3回に増やしたためである。なお、執行状況については、これまではたまたま都区内の委員を確保することができたため、旅費の不用が生じたものであるが、今後は引き続き、種々の状況を勘案し概算要求してまいりたい。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	281	平成23年	251	平成24年	217

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.業績評価に関する検討会構成員			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	検討会出席に対する諸謝金	0.186			
計		0.186	計		0
B.民間2社(扶桑速記(株)・ファミリーマート)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会議費	速記	0.077			
会議費	水・コップ	0.003			
計		0.080	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	評価に関する検討会の構成員	構成員業務に対する諸謝金	0.186		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	扶桑速記印刷(株)	速記による議事録作成	0.077		
2	ファミリーマート	水・コップ	0.003		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					